

事業所名

児童支援デイサービスつくし2

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

1月

23日

法人（事業所）理念		利用者が地域の中で安心して暮らせる力がつくような支援を目指す			
支援方針		○日常生活の基本が出来るように支援する 1、生活場面に合わせた挨拶が出来る。2、分からないことを聞くことが出来る。3、自分の気持ちを伝えられる。4、苦手な事に挑戦する機会を設ける。5、日常生活のルールを守る。			
営業時間(平日)		14 時 00 分から	18 時 00まで	送迎実施の有無	あり
営業時間(休日)		10 時 00 分から	18 時 00まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	来所時の検温、手洗い、うがいを実施します。支援中(送迎時)はこまめに換気をし感染対策をします。毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境を整えます。食事(おやつ)時は姿勢の保持、誤嚥に留意しながら、食事動作を見守り必要な場合は介助します。排泄はプライバシーを尊重し基本的な動作が出来るように支援します。医療的ケアが必要なお子様は看護職員により、適切にケアを行います。			
	運動・感覚	障害の特性に合わせた運動を行い、動作や感覚を養います。リトミック、ダンス、トランポリン、バランスボード、お散歩、縄跳び等を活用し、支援を行います。感覚や認知の特性を考慮し、視覚、聴覚、味覚、触覚、嗅覚を活用しながら個々の特性に合った支援を行います。畑作業(土を掘る、苗を植える、水くれ、収穫)を行います。			
	認知・行動	一日の活動を絵カード等を使って表示し、ルーティン化した日課を送れるようにします。季節ごとの行事を行い認知の形成をします。粘土、ブロック、等の遊びで大きさ、数、形、色の違いについて学習します。調理実習を行い、それぞれの特性に合わせて剥く、切る、焼く、煮る等の手順を習得を目指します。			
	言語コミュニケーション	場面に合わせたあいさつや会話をし、他人とのコミュニケーションが出来るように支援します。言葉や文字によるなどを用いる非言語的コミュニケーションと表情やジェスチャーなどを用いた言語的コミュニケーションを活用します。			
	人間関係社会性	集団活動を通して、周りの人との関係を形成出来るように支援します。地域の施設や社会見学へ行きその場面に合ったルールやマナーに関する知識を身に着けます。自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも理解出来るようにし社会に適応出来る力をつけていきます。			
家族支援		連絡帳を活用し、事業所での様子を伝えます。ご本人の意思を尊重しながら、家族の意向も確認し相談に乗り適切な助言をします。行事に参加する機会を作り相談しやすい環境を整えます。	移行支援	学校や関係機関と連携し、進路について保護者の意向も確認しながら相談に乗っていきます。	
地域支援・地域連携		関係機関と連携し個別支援計画を作成します。イベント等を通して地域との交流をする機会を設けます。		職員の質の向上	事業所内の研修やミーティングを行い、チームアプローチによる、より良い支援を目指します。外部の研修を受講し専門的な知識を身に着けます。
主な行事等		・事業所で育てたソルガム入りの餅つき・近所の神社へ初詣・節分の豆まき・ひな祭り・入学・卒業祝い・お花見・農業体験・プール・スイカ割り・芋掘り・みらい祭 ・クリスマス会			